児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用　（別添様式2）

公表日：令和6年1月10日　　事業所名：児童・放課後デイサービスみっけ　サービス種類：（児童発達支援・放課後等デイサービス）

区分		チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者の評価				保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1	利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	・指定基準は満たし、スペース確保はできている。 ・活動内容ごとに、スペースを分けて、より広く使えるように構造化した。	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	・昨年同様、継続していく。 ・活動内容によっては狭く感じることもあるが、テラスでの活動を取り入れるなどして工夫している。
				41	5	0	1	
				・子ども自身が成長したのでそう思う。 ・体を動かすには狭い。 ・日頃、事業所内に入ることがないので隅々まで分からないが子どもは快適に過ごしているよう。 ・主に椅子に座ってなので特にスペースはいらない。				
	2	職員の適切な配置	・定められた基準の職員を配置しています。	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	・今後も適切な人員の配置に努める。
				40	2	0	5	
				・変更時もお知らせがあり分かりやすい。 ・まだ半年しか利用していないので適切かどうか判断するには早いかなと思う。 ・先生が一人なのでなかなか難しい。				
	3	本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	・視覚支援の情報を増やす、導線の確保など、特性に応じた環境づくりを継続して行っている。	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	・日々、試行錯誤しながら、今後も子ども達が安心安全に過ごせるよう、環境整備に努める。
				39	2	0	3	
				・本人にはシンプルで分かりやすい。他の子にとっては分からない。				
	4	清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	・毎日の清掃・消毒、安全点検、季節ごとの環境構成を行っている。 ・トイレ、各部屋、送迎車を利用するたびに、消毒を徹底している。	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	・今後も継続していく。 ・トイレ、各部屋、送迎車を利用するたび、消毒を継続して実施していく。
				47	0	0	0	
				・常に清潔な様子で安心。テラスもあり伸び伸び遊べると思う。				
業務改善	1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）への職員の積極的な参画	・毎朝のミーティング時に前日の振り返り・情報共有、また必要に応じて、改善点を話し合いの実施。 ・利用・予約状況の確認の徹底。 ・業務分担の見直し。 ・会社全体での教育ラダーの導入。 ・引継表を利用し、伝達漏れが無いようにしている。					
	2	第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	・実施していない。					・必要に応じて、実施を検討していく。
	3	職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	・自立支援協議会が開催する研修会、県内研修等に参加。 ・事業所内での年間研修計画を立案し、実施。（1回/月）					・引き続き、職員全体で取り組んでいく。
適切な支援の提供	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	・契約時にアセスメントを実施。職員間で検討後、保護者・本人のニーズや課題を整理し、計画書を作成。定期的にフェイスシートなどを用いて、アセスメント行い、モニタリングの実施、計画書の変更などをしている。	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	・今後も継続して実施していく。
				45	1	0	1	
				・本人の苦手なことを訓練で少しずつ克服していけるように計画してくれている。 ・いつもきちんとニーズに合っている。				
	2	子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	・個別の記録ファイルを活用し、個々の特性を把握しながら個別と集団活動を組み合わせた計画を作成している。					・今後も継続して実施していく。
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	・個々のニーズに応じた内容・目標設定を作成し、具体的な支援内容を記載している。	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	・保護者への説明を徹底していく。
				47	0	0	0	
				・保護者同伴で利用させてもらっていて先生から学ぶことが多い（対応について） ・きちんと説明してくれてわかりやすい。				
	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	・個別、集団療育ともに作成した計画に基づいて実施している。 ・個々に応じた支援の実施に努めている。	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	・今後も職員全員で取り組んでいく。
				45	1	0	1	
				・本人のニーズや計画に沿った支援（お金とか）になっている。				

区分		チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
適切な支援の提供	5	チーム全体での活動プログラムの立案	・週案、月案、季節ごとの活動プログラムを立案。		・今後も職員全員で取り組んでいく。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	・平日では出来ない活動を、長期休暇時におこなっている。		・状況に応じたプログラムを取り入れ、きめ細やかな支援に繋げていく。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	（個別） ・療育グッズの研究・開発・工夫を重ね、本人にあったプログラムを実施している。 （集団） ・週ごとに活動プログラムを計画。カレンダーにして、本人や保護者に事前に配布して実施している。	はい：43 どちらともいえない：3 いいえ：0 わからない：1 ・毎月プログラムを作成して活動が色々工夫されている。 ・興味がありそうな内容をたくさん考えて用意してくれて嬉しい。 ・お買い物体験や図書館へ行く等、屋外活動もあり楽しめている。	・今後も個々のニーズや目標に応じた活動プログラムを職員全体で共有しながら実施していく。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	・サービス開始前のミーティングで支援内容・役割分担・送迎における安全確認等を徹底している。 ・長期休暇時は前日夕・当日朝に実施。		・今後も継続して実施していく。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	・支援終了後に経過記録の記載。 ・翌朝ミーティング時に振り返り、情報共有。 ・急ぎの案件についてはその日に申し送りをしている。		・今後も継続して実施していく。
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	・支援終了後に経過記録の記載。 ・毎朝ミーティング時に振り返り、情報共有。 ・必要に応じて、その子に合った支援を検証・改善に繋げている。		・今後も継続して実施していく。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	・日々の記録から定期的にモニタリングを実施し、個別支援計画書の見直しを行っている。		・今後も継続してモニタリング・個別支援計画書の見直しをしていく。
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	・児童発達支援管理責任者および管理者が主に対応し、必要に応じて職員も同行。 ・ケースに応じて、臨機応変に対応している。		・今後も同様に対応していく。
	2	**（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）** 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	・保護者・相談支援専門員を介して情報共有、提供を受け、連携をとっている。 ・学校からの受け入れの際は、下校時には必ず担任より一日の様子や健康状態等を確認している。		・専門職の助言をもらいながら勉強会を重ね、日々の支援に努めていく。
	3	**（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）** 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	・現在は医療機関と直接は連携実施はしていないが、保護者・相談支援専門員を介して必要に応じて連携をとっている。		・必要に応じて対応していく。 今後も整備に努める。
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校（小学部）等との間での支援内容等の十分な情報共有	・必要に応じて支援会議等への参加や文書での情報提供を行っている。 ・療育現場の見学相談等も積極的に受け入れている。 ・要望があれば、サポートファイルの記載についての相談にも対応している。		・今後も継続して実施していく。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	・必要に応じて支援会議等への参加や文書での情報提供を行っている。 ・療育現場の見学相談等も積極的に受け入れている。 ・相談支援事業所への定期的な支援内容の報告。		・今後も継続して実施していく。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	・今年度はオンライン研修や対面での研修も増え、参加できるものに関しては積極的に参加している。		・今後も受講していく予定。
	7	児童等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	・今年度は夏休み期間中に地域の児童センターへ出掛け、交流する機会を持つことが出来た。	はい：17 どちらともいえない：3 いいえ：2 わからない：24 ・個別なので交流ない。 ・（保護者自身が）分かっていない。 ・他団体との交流はなかなか難しいと思うが夏休みには図書館などへお出かけも組み込んでいて充実していると思う。	
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	・プライバシー保護の観点から、現在は実施できていない。		・検討していく。

区分		チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者の評価				保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
保護者への説明責任・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	・契約時・モニタリング時に、支援の内容や負担の部分について説明している。 ・保護者からの問い合わせには返答し、周知事項があれば書面を作成し、配布している。	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	・継続して行う。
				44	2	0	1	
				・日頃の送迎時、モニタリング時にいつも丁寧に子どもの様子を知らせていただいている。 ・とても丁寧にしてくれる。				
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	・個別、集団療育ともに初回利用時、個別支援計画書更新毎に説明をおこなっている。	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	・継続して行い、さらにわかりやすく、丁寧な説明に取り組む。
				44	2	0	1	
				・分かりやすく説明してくれている。				
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント･トレーニング等の支援の実施	・LINE公式アカウントの導入。 ・必要に応じて、LINE・メール・電話・訪問等、対応している。 ・保護者向けの研修会のご案内。	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	・継続して行い、さらにわかりやすく、丁寧な説明に取り組みながら、より良い支援に繋げていきます。
				16	5	2	15	
				・毎回利用直後の話で消化できていると思う。 ・具体的にどのようなトレーニングなのかわからない。				
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	・集団療育では、連絡帳、送迎時、LINE、電話で随時情報共有をしている。 ・必要に応じて面談を設けている。 ・個別療育では、利用時に機能訓練士と情報共有している。 ・必要に応じて個別支援会議に繋げている。	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	・今後もコミュニケーションを図りながら実施していく。
				43	2	1	0	
				・利用中の本人の様子を分かりやすく細かく伝えてくれ、同時にアドバイスももらえるので家での接し方や説明に繋がる。 ・いつも最後に話をする時間を作ってくれている。				
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	・保護者から悩み等の相談があった場合は、職員間で話し合いの場を持ち、随時適切に対応、助言できるように取り組んでいる。	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	・今後も継続して実施していく。 ・モニタリングの回数においては規定に基づいて実施している。追加で希望のある場合は随時対応していく。
				40	4	2	1	
				・質問、相談にいつも一緒に考えてくれてしっかり応えてくれてアドバイスいただけて助かっている。 ・モニタリングの回数が少ないように思う。				
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	・事業所での保護者会は未開催。 ・地域での交流会・研修会（こども連絡会等）、オンラインで参加できるものに関しては、LINE一斉配信、書面または掲示にてお知らせしている。	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	・今後、ニーズに応じて出来る範囲で検討していく。 ・継続し、こども連絡会等の案内があれば、LINE公式アカウントにて、お知らせしていく。
				13	5	3	26	
				・通所（月1）もあり通所期間も4カ月であまり分かっていない。 ・参加したことがないので分からない。				
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	・契約時に苦情担当窓口等の説明をしている。 ・事業所内職員で共有し、苦情対応マニュアルに沿って検討。必要に応じて対応、回答している。	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	・今後も継続して努めていく。
				26	1	0	20	
				・今のところトラブル、困ったことない。 ・苦情がないので分からない。				
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	・個々に応じた配慮をおこなっている。	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	・継続して行い、質の向上に努める。
				42	1	0	4	
				・LINEや電話ですぐに連絡が取れるようにしてくれている。				
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	・連絡帳・LINE・プログラム予定表等を通じ、行事予定・活動概要を発信している。	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	・引き続き、集団療育・個別療育それぞれに応じた内容を検討し、発信していく。
				27	2	1	17	
				・すみませんチェックしていません。 ・通知での案内、LINEで都度連絡があり分かりやすく確認しやすい。 ・公式LINEの開設、配布パンフレット、十分に行ってもらっている。				
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	・外部への情報開示は、契約時にも説明しているが都度、本人・保護者の確認、同意を得てから行っている。 ・個人ファイルは鍵付きロッカーに保管している。	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	・今後も引き続き慎重におこなう。
				40	0	0	6	
				・不安に思ったことがない。				
非	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護	・災害時における対応マニュアル・出席停止を伴う感染症マニュアルに関しては連絡帳	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	・随時、マニュアルを更新し、周知徹底してい
				41	3	0	3	

区分		チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応		者への周知徹底	に挟んでいます。	・説明のプリントをいただいている。	く。
非常時等の対応	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	・長期休暇時に利用児を含めて、避難訓練（地震・火災・水害）を実施している。	はい：24 どちらともいえない：2 いいえ：0 わからない：21 ・（保護者自身が）認識不足。	・マニュアルや防災訓練の実施内容を掲示するなどし、周知徹底を図る。
非常時等の対応	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	・職員研修の実施、日々のミーティングで職員間の意識確認や対応の検討を行っている。		・研修のみならず、随時意見交換する場を確保していく。 ・今後も職員間で意識を高め、早期発見・虐待防止に努める。
非常時等の対応	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	・必要に応じて、組織決定していく。		・事業所のマニュアルに沿って決定し、説明・同意を得ていく。 ・身体拘束の必要があれば、個別支援計画に記載していく。
非常時等の対応	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	・現在は対象児がいないため、医師からの指示書はない。 ・保護者からの意向・情報のもと、対応している。		・必要に応じて医師からの指示書に基づき、引き続き保護者との情報共有を行い適切な対応に努める。
非常時等の対応	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	・ヒヤリハット事例以外でも職員間での共有を徹底している。報告・記録して改善に努めている。 ・社内研修、事例検討会で共有している。		・今後も継続しておこない、徹底に努める。
満足度	1	こどもは通所を楽しみにしているか		はい：42 どちらともいえない：3 いいえ：0 わからない：2 ・習い事のひとつのような感覚。 ・すごく楽しみにしている、行きも帰りもニコニコ嬉しそう。 ・親子共に楽しみにしている。 ・先生のことが大好きです。 ・とても楽しみにしている。	
満足度	2	事業所の支援に満足しているか		はい：45 どちらともいえない：2 いいえ：0 わからない：0 ・ありがたい。 ・大満足。通わせていただいて成長が目に見えてありがたい。 ・大変満足。 ・子どもに寄り添ってくれながら支援してくれるので大満足。 ・もう少し日数が増えたらいいなと思う。 ・大変な中、いつも笑顔できちんとした指導をしていただき有難い。親の私のことも配慮していただき感謝です。	